

宮永岳彦記念美術館 「宮永岳彦 生誕百年展」について

2019年は、大正に生まれ昭和を駆け抜けた洋画家・宮永岳彦（1919～1987）の生誕100年に当たります。宮永岳彦の画業は、洗練された商業デザイン、愛らしい童画、抽象や風景を含む油彩画、画業後半にたどり着いた絢爛な美人画と大きく展開しました。そのような画風の幅を持ちながら、描かれたさまざまな作品はいずれも普遍的で明快な美が輝き、今なお見る人を引き付けています。

1 期間

6月5日（水）から令和2年2月24日（月・祝）まで
午前10時から午後7時まで（入場は午後6時半まで）

2 場所

宮永岳彦記念美術館（鶴巻北3-1-2）

3 内容

生誕100年を記念して開催する本展は、宮永岳彦の代名詞である、美人画のほか、初期の油彩画やデザインを含む各時代・分野の作品など計約80点を包括的に展示し、その多彩才能を総覧します。また、常設展示内に画伯が実際に愛用したイーゼル、画材などを展示し、アトリエを再現します。



《翔〈ボッティチェルリ〉「プリマヴェェラ」想》
油彩画 1982年



小田急「TANZAWA 丹沢山塊」
ポスター 1965年

問い合わせ

文化振興課文化交流担当 電話0463（86）6309